

毎朝、熱を測って表に記入、保護者のサインをもらって登校する。忘れたら保健室で検温がルール。マスクがずれても注意され、友達とくつついて遊ぶと叱られる。

新型コロナウイルスで新しい生活様式が求められるのは、大人ばかりではない…。

(7・8中国新聞「天風録」より)

感染予防を常に意識して生活を送らなければならぬ毎日。心にはストレスを抱え、体調も崩れることもあり、不安な日々が続いた二学期。そんな中でも生徒のみさんの努力により、無事終業式を迎えることができました。

### 支えられていることに感謝

二学期の出来事で、特に印象に残っていることを聞くと、まず多かったのが、総合的な学習の時間での発表、そしてクラスマッチでした。例年とは違い、何かと制約の多い中、やはり学校行事は生徒のみなさんにとって大切な成長の機会です。

○十一月十七日、一年生は阿賀中学校体育館で、南中ソーラン節の発表会がありました。このソーランは五月の体育大会で披露するはずでしたが、新型コロナウイルスの影響で中止になり、披露できなくなっていました。しかし、先生方がいろいろと計画してくださり、この日に決まりました。

初めは上手に踊ることができず、練習していきうちに、少しずつ上手くなっていく気がして、楽しくなっていました。

そして、いよいよ本番を迎えました。間違っていたところもあつたけれど、楽しく笑顔で踊れ、保護者の方も見に来てくださったのでうれしかったです。この日、私は改めて自分たちはたくさんの人に支えられていることが分かりました。これからも頑張ります。

### 一つになることの難しさ

○クラス全体で何かをするということは初めてだったので、簡単にはまとまりませんでした。

○ときには意見が合わずにぶつかり合うこともあったけれど、話し合いを重ね、前向きに考えていきました。

○練習のとき、本気で取り組んでくれない人がいて苦労しました。本当に大丈夫なのかと不安になるほどでした。

○練習していく中でクラスが一つにならないこと、ソーランに対する真剣さが足りないこと、たくさん課題がありました。

### 思いは伝わる

○初めのころはふざけていた人も、日が経つにつれ、本気になっていき、それと同時に、クラスが一丸となるようになっていきました。本番も全員で踊りきれ、今までの努力を発揮することができ、達成感でいっぱいでした。

○練習していくうちにさまざまな問題も起きました。みんなの意見が合わずにバラバラになることもありましたが、それでもみんな立ち上がり、ソーラン発表の日のために協力し、踊りを完成させました。

○みんなの心を一つにすることは難しく、一生懸命してくれない人もいました。しかし、呼びかけをし、本番が近づいてくると、だんだん真剣さが増してきて、最後にはみんなで最高の南中ソーラン節を作り上げることができました。

○心を一つにすることはとても難しいけれど、それを乗り越えることでクラスが一つになり、とても大きなものを作り上げることができました。

○短い発表でしたが、このためにたくさん時間をかけて、最後まで真剣に取り組んでくれたことに感謝しています。

○ソーランを通して、さらにクラスの仲を深めることができました。ソーランを踊ることができて本当に良かったと思います。これからもクラス一丸となって、いろいろなことに挑戦していきます。

○本番直前の練習の前、通りかかった先輩が、「がんばってね」と声をかけてくださいました。そのおかげで、緊張がほぐれて、良い踊りを見せることができました。

○コロナ禍の状況で声は出せなかったけれど、踊りで表現できたと思います。悔いなく踊りきれ、今回の体験は新たな絆が生まれたと思います。

○入学して、クラスのみんなが一つになって何かに取り組むことがありませんでした。しかし、阿賀中の伝統があったからこそ、クラスのみんなが団結して、一つの目標に向かって頑張ることができました。

○最初はソーランが下手で踊りたくないと思っていました。しかし、リーダーの人やみんながアドバイスをくれたりしたので、しっかりと練習をし、本番に向けて準備をすることができました。

○初めてクラスと活動したことで、練習のときは教え合い、話し合いながら上達することができました。練習が辛いこともあったけれど、この活動を通してクラスの一体感が増したと感じました。○「伝統の継承」を実感することができた体験でした。

忘れてはいけないこと  
○発表の終わりに大きな拍手がもらえたのは、支えてくださった方々のおかげです。ありがとうございます。

### 心は密に仲間と共に

(○：生徒振り返りより)  
「三密は避けながら、心は密に」深刻な状況が続く中、よく耳にする言葉です。二学期の学校生活でどれだけ相手のことを思いやり、考え、行動することができたか。相手が傷つく言動がなかったか、今一度振り返ってみてください。学校行事等を通して、みなさんは成長しています。温かい心で新しい年を迎えましょう。



1-1



1-2



1-3

学年だより

第4号 令和2年12月23日(水)

呉市立阿賀中学校 第1学年

やる気のみえる 学年集団

不十分なところは気持ちで補える。見ている人が拍手を送るのは一番だからではない。今の自分にできる精一杯の頑張りを感じを。一生懸命頑張っている人には、一生懸命応援したくなる。